

## 環境に対する満足度や取り組みについての市民アンケート結果

### 1 アンケートの目的

本市では東広島市環境基本計画策定時に市民アンケートを実施しており、本計画スタート後にも同様のアンケートを定期的実施することとしている。このアンケートにより市民の環境に対する満足度や取り組みの進展状況を把握し、本計画の進捗状況を総合的に評価するためにアンケートを実施したものである。

### 2 アンケートの概要

- (1) 調査地域 東広島市全域
- (2) 調査対象 東広島市内に居住している18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 1,700人（西条町600人、八本松町、高屋町、黒瀬町各200人、志和町、福富町、豊栄町、河内町、安芸津町各100人）
- (4) 抽出方法 層化無作為抽出法（住民基本台帳から抽出）
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収あるいは電子申請によるアンケート調査
- (6) 回答受付期間 平成31年1月24日（木）～平成31年2月8日（金）
- (7) アンケート用紙 巻末資料のとおり

### 3 回収状況

- (1) 配布数 1,700通
- (2) 有効回収数 628通（回収率36.9%）

### 4 アンケート結果

本アンケートでは、市民の環境に対する満足度と、環境を保全するための取り組み状況について質問した。いずれも前回アンケート調査を実施した3年前と比較した回答を求めた。

#### (1) 東広島市の環境に対する満足度

表1 環境に対する満足度調査結果

項目	回答数			(A)-(C)
	(A)満足・やや満足	(B)どちらともいえない	(C)やや不満・不満	
公共の広場、公園、緑	188	193	170	18
歴史的な資源の豊かさ	155	247	64	91
町並みの美しさ	215	204	153	62
川などの水のきれいさ	195	200	167	28
水や水辺とのふれあいやすさ	86	186	234	▲148
空気のきれいさ	440	112	49	391
まちの静けさ	392	122	87	305

## ア 満足・やや満足の割合が多い項目

「水や水辺とのふれあいやすさ」を除き、すべての項目で満足・やや満足と回答した数が、やや不満・不満と回答した数を上回った。特に満足・やや満足の割合が大きい「空気のきれいさ」では、田舎だから、山や緑に囲まれているからといった回答が大半であった。また「まちの静けさ」については変わりなく静かだと感じているからとの意見が大半であった。

「公共の広場、公園、緑」については、近くに広場、公園、緑がないから、管理が不十分だからという意見が多くみられた。続いて「歴史的な資源の豊かさ」については、歴史的資源がないから、歴史的資源が活用されていないからという意見が多くみられた。「町並みの美しさ」については、景観に関する意見より、ごみの散乱や、空き家・空地が目立つという意見が多く見られた。「川などの水のきれいさ」については、河川敷のゴミの散乱や草刈りなどの維持管理に関することが多く、水質については黒瀬川が汚いという意見が挙げられた。

## イ やや不満・不満の割合が多い項目

「水や水辺とのふれあいやすさ」1項目について、やや不満・不満の割合が大きくなった。その理由として、川へ下りられる場所がない、安全に入れる川がない、水辺と触れ合える広場やキャンプ場などの施設がないというものであった。また豪雨災害の復旧が進んでないという意見も多く挙げられた。

### (2) 環境を保全するための取り組み状況

表2 環境を保全するための取り組み状況調査結果

項目	回答数			(A)-(C)
	(A)取り組んでいる	(B)どちらともいえない	(C)取り組んでいない	
余暇は自然とふれあうように心がけている	304	193	111	193
ごみと資源物の分別を行っている	598	13	11	587
ごみや吸い殻などのポイ捨てはしないようにしている	552	2	68	484
エコドライブを心がけている	480	48	15	465
出来るだけ自家用車を使わず徒歩や自転車、バス、電車の利用を心がけている	268	176	164	104
太陽光発電を行っている	106	73	433	▲327
冷房の設定温度は、28度を目安にしている	336	89	120	216
暖房の設定温度は、20度を目安にしている	311	97	136	175
家庭内で環境問題について話し合いを行っている	228	162	98	130
清掃活動など地域の環境保全活動に参加している	360	107	152	208
市や団体等が主催する環境保全のイベントや活動に参加している	360	107	152	208

## ア 取り組みが進んだ項目

「ごみと資源物の分別を行っている」、「ごみや吸い殻などのポイ捨てはしないようにしている」および「エコドライブを心がけている」については、いずれも当たり前であるという意見が大半を占め、習慣として定着が見られている。

次いで取り組みがすすんでいる「冷房の設定温度は、28度を目安にしている」、「暖房の設定温度は、20度を目安にしている」については一定程度の省エネ対策とした取り組みの定着が見られるが、一方で熱中症の予防や寒さが厳しいなど、健康を配慮して設定温度を適宜変更しているものが多い。また「余暇は自然と触れ合うようにしている」については、自然とふれあうことが好きだという意見が多い一方で、時間がない、多忙だからとの理由でふれあえない人も多く見られた。「清掃活動など地域の環境保全活動に参加している」および「市や団体等が主催する環境保全のイベントや活動に参加している」については、地域の清掃活動など生活の一部として受け入れられており、これらに参加しなくなった・参加していないと回答した人の理由は、時間がないからというものが多く見られた。

「できるだけ自家用車を使わず徒歩や自転車、バス、電車の利用を心がけている」について、公共交通機関の利用が進んだ主な理由として、健康のためが最も多かったが、公共交通機関等の利用を心がけているという意見も多く、のんバスの運行等により意識の変化や習慣化が見られている。「家庭内で環境問題について話し合いを行っている」については、こどもが学校で学んできたりニュースをみることをきっかけに話す人が多い。逆に話し合う機会がない人の理由として、話題に挙がらない、興味がないという意見が挙がっている。

## イ 取り組みが後退した項目

「太陽光発電を行っている」1項目について、取り組んでいない割合が多くなった。その理由として、コストがかかることや、借家・集合住宅に住んでいることがほとんどであった。

## 5 まとめ（今後の取り組み）

このたび平成30年に実施したアンケート調査では、選択肢と合わせて、その回答を選択した理由を自由記述する形式とした。これにより、回答を選択した理由が明らかになり、市民の声をより具体的に集めることができた。一方で、記述理由から、誤った選択肢を回答している可能性も考えられたことから、設問の記載方法にも配慮が必要であると考えられた。

環境に対する満足度調査では、公共の広場、公園、緑だけでなく、歴史的資源やきれいな町並みについて満足と答えた割合は30%前後であった。これらの理由として、これらの項目に挙げられるものの存在を知らないというものが多く、うまくPRすることにより満足度が向上することが期待される。

水や空気、騒音等の環境については、おおむね市内の環境調査結果と関連しており、環境基準が満たされるよう、引き続き公害監視業務により改善に努める必要がある。また水や水辺とのふれあいやすさについては、市内に親水エリアが少なく、こどもに対しても池や川には近づかないよう指導されていることもあり、水と触れ合う機会が減っていることが影響していると思われる。

続いて、環境を保全するための取り組みについては、ごみの分別やポイ捨ての防止等は習慣としてほぼすべての人が取り組まれていた。またエコドライブ等も環境配慮型の車の普及等により、徐々に浸透が見られている。一方で、空調の設定温度は、近年の異常気象等から、熱中症等を防ぐため見直しが進められている。

今回のアンケート調査は東広島市環境基本計画の最終調査となり、令和2年～3年に実施する予定である。アンケート調査ではこれまでの結果との比較をおこなうため、質問の趣旨は承継しつつ、設問の方法等、このたびのアンケート結果、および環境審議会で頂いた結果を考慮して実施します。

## 卷末資料

○アンケート用紙

○アンケート結果